

## タイトル：構造的暴力の中の私～サリーはなぜ八十吉になったのか～

ファシリテーター（グループ）：世界の不平等チーム(nuis)

### 1：本ワークショップの要旨

差別はなぜ生まれてしまうのか？差別をなくすために数多くの法律や政策があるにも関わらずなぜ差別は無くならないのか？もしかしたら、知らず知らずのうちに差別を作り出してしまっているのではないか？このワークショップでは、差別の原因を探りたい。事例として、日本の外国人差別問題を取り上げる。社会の中に生み出されてしまう差別という暴力(構造的暴力)について、参加者の皆さんと一緒に考えていく。

### 2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

普段私たちが生活している中で気付かないうちに差別など、目に見えない暴力(構造的暴力)を支えていることに気づく。  
そしてなおかつ、自分達が生活する中でどのようにしてその構造を克服していったらいいのか参加者なりに考えてもらう。

### 3：本トピックをとりあげる理由

構造的暴力を取り上げる理由としては、数ある世界の問題の中で当事者性を重視した時に目には見えなく、考えることもあまりないが確かにしっかりと自分に関わっているということを、意識できると考えたため。

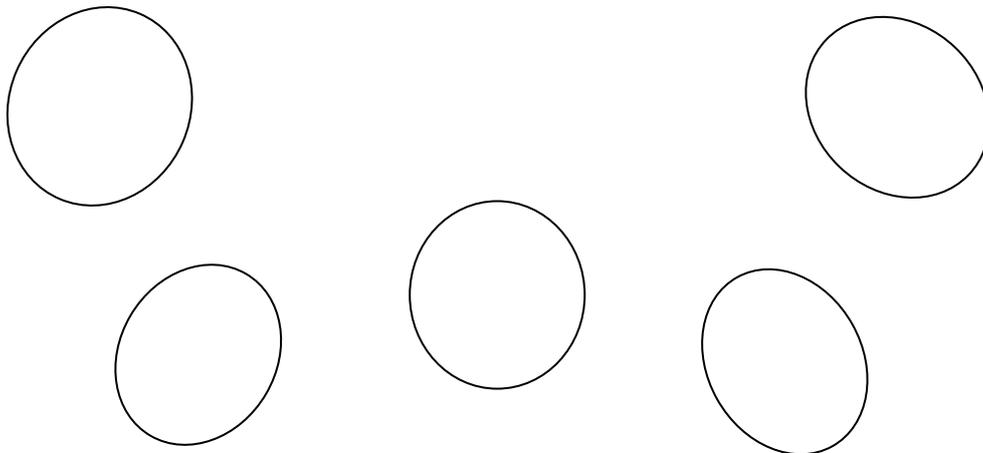
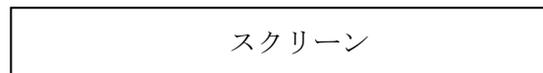
4 : 活動過程 (使用時間 : 90 分 参加人数 : 40 人 )

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・説明・動きなど	ねらい	使用する教材・備品	予想される反応・その他、注意事項
導入 : 起 ( 16分)	あいさつ・ファッションデザイナーの自己紹介 (1分)  アイスブレイキング 「4マス自己紹介」 自分の名前についての自己紹介をする。(6分) 「ネームリング」 名前の画数順に円を作る (5分)  グループワーク① 「〇〇さんにとって名前ってどんなモノ？」 (3分) 共有 (1分)	項目 ①名前 ②名前の由来 ③エピソード ④好き?嫌い?その理由  「〇〇さんにとって名前ってどんなもの？」	自分の名前に注目して、そこに込められたアイデンティティを認識する。  4マス自己紹介で触れたように自分の名前について考えることで「名前」にアイデンティティを見出す。	A4用紙各自1枚  模造紙各チーム1枚	「考えたことなかった」 「私、自分の名前好きだな」

<p>展開：承 (14分)</p>	<p>ミニ講義① 名前を変えた人の例としてKONISHIKIさんをおあげ、帰化制度の説明をする。 その後制度についての詳しい内容を○×クイズ形式で参加者に知ってもらう。(7分)</p> <p>グループワーク② 「名前を変えることは当然か？またそれはなぜか？」 (5分) 共有(2分)</p>	<p>「名前を変えることは当然だと思いますか？またそれはなぜですか？」</p>	<p>日本の帰化制度の仕組み問題点の知識を共有しその後のグループワークに生かせるようにする。</p> <p>「名前」というアイデンティティを変えざるを得ない帰化制度からそれが普通と思っている自分たちに気づく。</p>	<p>パワーポイント 印刷したプリント</p> <p>模造紙各チーム 1枚</p>	<p>「KONISHIKIの本名の名前ってこんななんだ」「国籍を変えるってたいへんだ」</p> <p>「私だったら名前を変えることは絶対やだ」「変えるのはしょうがないとおもう」</p>
<p>発展：転 (17分)</p>	<p>グループワーク③ ペルー人の男子生徒の受験の問題を例に挙げて、 「もしあなたが彼の友達だったらどうアドバイスしますか？」 説明(2分) 話し合い(6分) 共有(2分) ミニ講義② 構造的暴力についての説明をする。 (7分)</p>	<p>「もしあなたが彼の友達だったらどうアドバイスしますか？」</p>	<p>簡単に帰化することを勧められなかったり、アイデンティティから考えられることで議論をしてみよう。</p> <p>今までの気づきやグループワークを整理するとともに本ワークショップのテーマである「構造的暴力」について説明する。</p>	<p>模造紙各チーム 1枚</p> <p>パワーポイント 印刷したプリント</p>	<p>「アドバイスかー、難しいな」「ずっと日本に住んでいるのに何でこんな扱いを受けるのだろうか？」</p>

<p>まとめ : 結 (18分)</p>	<p>グループワーク④ 「ひとりひとりが『自分らしさ』を大切にできる社会には何が必要か」 説明 (2分) 話し合い (10分) 共有 (2分)</p> <p>まとめ (3分)</p>	<p>「ひとりひとりが『自分らしさ』を大切にできる社会には何が必要か」</p>	<p>構造的暴力という概念の基本知識をもとに自分達の身近なこととしてこれからの世の中を考える。</p>	<p>模造紙各チーム 1枚</p>	<p>「自分の意思をはっきり伝えることかなー？」 「あいての意思をはっきり伝えること？」 「身近にある構造的暴力って何だろう？」</p>
--------------------------	---	---	---	-----------------------	--

**5 : 会場のセッティング**



**6 : 使用する教材**

パワーポイント

**7 : 参考にした資料**

「構造的暴力と平和」 ヨハンガルトウング著

「平和とは何か」 藤田明史著

「日本社会における在日アイデンティティの構築性」 土屋明広著

**8 : その他**